

令和2年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

令和2年5月1日

発行：岩手県水産技術センター

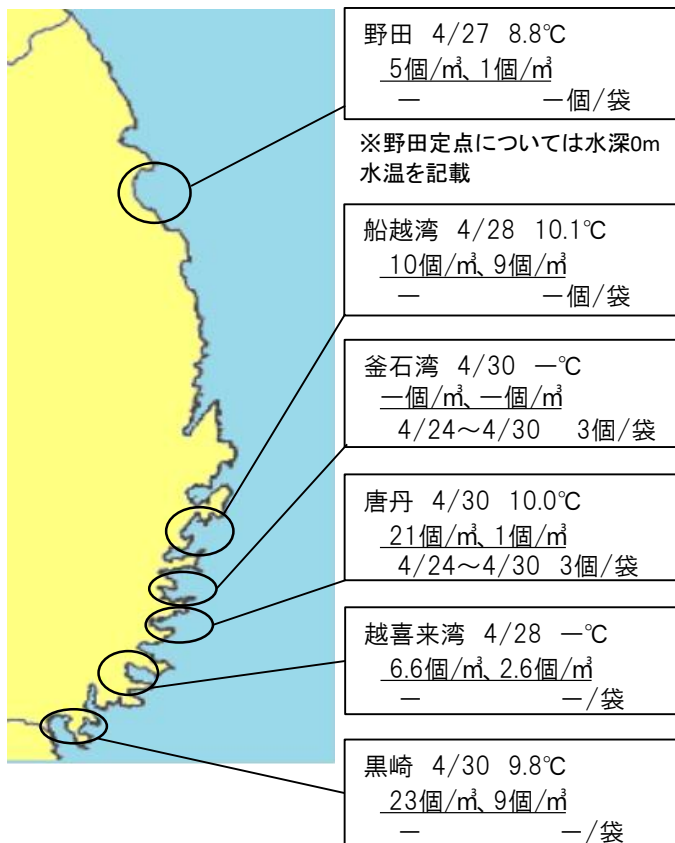
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



県中南部海域におけるホタテガイ付着稚貝はわずか。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.0℃で、透明度は9.0mでした。水温は例年より高く推移しています。
 - 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが21個/m³（昨年同時期：83個/m³）、200μm以上の大型のラーバが1個/m³（同：10個/m³）出現しました。
 - 唐丹湾、釜石湾では、ホタテガイの付着稚貝数はまだ少ないです。
 - 引き続き、【ホタテガイ採苗情報】、【東北海区海況予報】を参考にしながら、採苗器の投入準備を進めてください。
- < 宮城県の状況（4月30日発行ホタテガイ採苗通報（第2報）） >
- 小型～中型ラーバが増加、大型ラーバはわずかに確認された。
 - 生殖腺指数が低下しており、産卵が行われている。



調査点	調査日	水深10m層水温	ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数
-----	-----	----------	---------------------------	-----------	-------

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月8日頃に
発行する予定です。

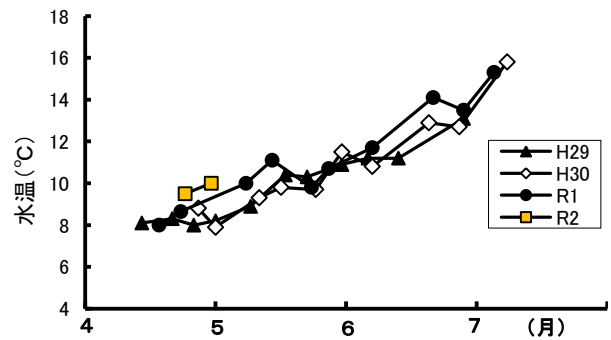


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

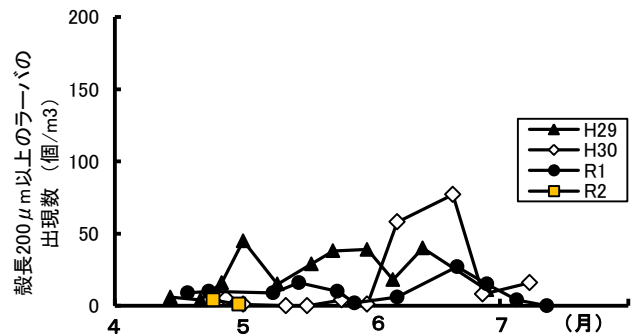


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

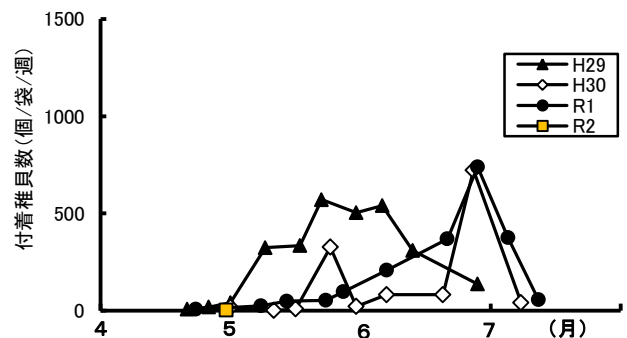


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数